

志木小学校だより

平成30年度2月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

2/1児童数 721名

幸せを呼び込むために！

校長 坂口 栄二



校長室わきの黄梅

もうすぐそこに春が！

インフルエンザが猛威を振るっています。また、寒さの厳しい季節がまだ続きます。体調管理には十分ご注意ください。右上に写真を載せましたが、校長室脇のあまり日の当たらない場所にある黄梅が花を咲かせ始めています。中国では、旧正月（2月）頃に咲き出す花なので「迎春花（げいしゅんか）」と呼ばれます。また、2月4日は立春です。暦の上では、いつの間にか春が近づいてきています。

和気致祥（わきちしょう）という言葉を知っていますか？

「和気」とは穏やかな気持ちという意味です。また、「祥」とは「おめでたいこと。よいことが起こる前ぶれ」という意味です。ですから、「和気致祥」の意味は、「穏やかな気持ちで幸せをもたらす」ということです。世の中ではあおり運転や殺人など心いたたまれぬ事件がたくさん起きています。当事者はもちろん、周囲の人々も不幸にしています。

穏やかな気持ちでいることはとても大切なことだと思います。

なぜ、穏やかな気持ちをもてないのでしょうか。一つ考えられることは、相手の良さや自分との違いを認められず、自分の物差しに当てはめようとするからではないでしょうか。（ほかにも要因はたくさんあると思いますが・・・）

相手のよさや違いを認められれば、多少なりとも心に余裕ができ、穏やかな気持ちになれると思います。穏やかな気持ちをもてれば、幸せを自然に呼び込むことができるのです。

悪いことばかりが続かないために！

穏やかな気持ちもちたいと思っても、悪いことばかりが続くと穏やかにはいられません。悪いことが起きないためにどうすればいいのでしょうか。

仏教の言葉に「善因善果（ぜんいんぜんか）」という言葉があります。よい行いをすればそれがもとになって必ずよい報いがあるという意味です。日々よい行いをしていれば、周りの人々もそのことに気づきます。よいことをしている人に何かしてあげたいと思うのは自然な気持ちだと思います。

「善因善果」の反対の言葉は「悪因悪果」です。悪い行いをすれば悪い結果が出てしまうということです。悪いことばかりしている人には何かしてあげようかなと思っても、「悪いことばかりしているから、何もしてあげなくてもいいか」と思ってしまいがちです。

ひとつ問題は、善因の結果がすぐ出ないこともあることです。しかし、長いスパン（今現在だけでなく一生涯にわたって）で考えて、善因を心がけることが大切です。

よい行いとは？

ところで、よい行いとは何でしょう。人によって価値観が違うので、よい行いの基準も違うのは当然です。私が思うよい行いとは周りの人が笑顔になる行いです。例えば、明るい元気なあいさつ。してもらった人で、いやな気持ちになる人はいないのではないでしょうか。そのように考えることで日常生活の振り返りができます。

子供たちにも善因を心がけさせ、穏やかな気持ちで過ごさせたいと考えています。そして幸せを呼び込ませたいと思います。

今後もそのための教育活動を展開して参ります。ご支援、ご協力をお願いいたします。

